オンライン会議　活用事例集

PC+AV インテグレーション

- 総合物流サービス会社様
- バッテリー製造会社様
- 建築設備設計会社様

VTV ジャパン株式会社

＜東京オフィス＞
〒102-0073　東京都千代田区九段北1-11-11 第2フナトビル6階
TEL.03(5210)5021　FAX.03(5210)5022

＜大阪オフィス＞
〒541-0048　大阪市中央区瓦町4-5-9 井門瓦町ビル5階
TEL.06(4706)3930　FAX.06(4706)3931

* 本カタログの記載内容は2024年6月現在のものです。
* 利用シーンの写真には、はめ込み画像などイメージ画像が含まれます。
* 製品の外装・仕様は、予告なく変更される場合があります。製品の詳細や仕様などについては、営業担当にご確認ください。
* 会社名および製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

【導入実績多数】PC+AVソリューションでの会議室構築はVTVジャパンにお任せください！

ヒアリングや現地調査にもとづき、会議室でのオンライン会議に必要なカメラ・マイクなどの映像・音響機器を会議室の規模や形状、運用方針に合わせて構成し、快適なオンライン会議環境づくりをご支援いたします。
単に映像・音響機器を組み合わせるのではなく、「音声品質を改善したい」「誰でも簡単に会議準備ができるようにしたい」「機材環境をワイヤレス化したい」など、お客様のイメージを形にできるご提案をいたします。

さまざまなメーカーのオンライン会議向け製品を自社検証したうえで、お客様にとって最適な製品をご提案しています

導入後も安心の会議設備運用総合支援サービス「VTV After Care」

ご導入いただいた会議設備を安心して利用できる環境づくりを支援するサービスです。トラブル復旧にとどまらず、会議用設備の安定稼働・運用環境の維持はもちろん、会議設備の効率的な利用による生産性向上までトータルでサポートいたします。

コールサポート	オンサイトサポート	運用マニュアル管理	システム再調整	代替製品貸出	システム点検
お電話にて、システム利用に関する相談やトラブルに対応	コールサポートでトラブルが解決しない場合、現地訪問して状況診断	お客様の会議運用に合わせたオリジナルマニュアルの作成・管理	導入システムの設定に変更が生じた場合、設定を再調整 ※ 導入6か月後に実施	システム故障時、同等スペックの代替製品を貸出	導入機材の点検、配線の整頓や清掃の実施 ※ 年1回実施

支援範囲で選べる2つのプラン - VTV After Care Standard ・ VTV After Care Extra

	コールサポート	オンサイトサポート	運用マニュアル管理	システム再調整	代替製品貸出	システム点検
Standard	○	○	○	○	×	×
Extra	○	○	○	○	○	○

東京・大阪のショールームでデモンストレーションを実施中！
デモのお申し込み・ご相談は Web サイトまたはお電話で！

東京：03-5210-5021
大阪：06-4706-3930

VTV デモ

Casestudy Portfolio　オンライン会議活用事例

会議室インテグレーション事例

会議室のレイアウトによってデバイスを使い分け 既存の音響システムを一新し、高品質で使いやすいWeb会議環境を実現

User Profile

総合物流サービス会社様

事業内容：貨物運送・輸送
導入年月：2024年3月

総合物流サービス会社様は、普段は1つの広いスペースを区切って4つの小会議室として利用し、大人数での会議やイベント開催時には仕切りを外して大会議室として利用していました。大会議室でWeb会議を行う際は、大会議室用の音響システムとWebカメラを使用し、小会議室でのWeb会議にはマイクスピーカーとWebカメラを使用して映像・音声を拡張していました。小会議室は問題なく利用できていましたが、大会議室の音響システムはWeb会議には対応しない自拡声用のため、複雑な機器接続が必要となり、毎回のセッティングに手間がかかる、音質が悪いなどの問題が生じていました。

問題を解決するために、同社では音響システムのリプレイスを検討することになりました。しかし当時の導入担当者は現在管理部門に在籍しておらず、システム構成を理解している担当者はいませんでした。そのため自社だけでは対応が難しいと判断し、取引のある販売店に相談したところ、「オンライン会議の映像・音響システムであればVTVジャパンに相談してみては」と弊社をご紹介いただきました。

無理な運用で音声が悪く、トラブルも多発していた現状を改善する提案とは

同社からの相談を受け、すぐに詳細なヒアリングと現地調査を行い、実際にどのようにWeb会議を行っているのかを確認しました。大会議室の既存音響システムは導入して20年近くたっており、さらに導入当時はオフラインでの自拡声のみを想定していたため、PCと接続できる構成ではありませんでした。PCと音響システムの間にマイクスピーカーを挟んで強引に接続したり、一部の機器が故障し集音機能が足りていなかったことが原因で、Web会議での音声品質が低下していました。また、無理な接続により構成が複雑化したことから、セッティングに時間がかかり、接続ミスなどによるトラブルも発生し、その度に担当者が呼ばれて対応する必要がありました。小会議室ではPCにWebカメラとマイクスピーカーを都度接続していましたが、部屋の規模とデバイスのスペックは問題なかったものの、ユーザーは毎回周辺デバイスを接続・設定することに負担を感じていました。

「すべての会議室で高品質なWeb会議を可能にしたい」「システムを簡素化して接続時の手間やトラブルをなくしたい」というご要望を受け、大会議室は音響システムをWeb会議にも対応できるように全てをリニューアルし、小会議室はカメラ・マイク・スピーカー一体型のビデオバーを常設し、音声・映像品質の向上とシステム構成の簡素化、操作性の向上を図る提案を行いました。

大会議室は、全ての映像・音響機器とPCがケーブル1本で繋がるように設計することで、だれでも簡単にWeb会議を開催できるようになります。会議室の規模に合ったスピーカーを配置し、大会議室では発表やイベントが多いことを考慮して、ワイヤレスのハンドマイクを採用しました。これにより、オンライン・オフラインどちらの場面でも高品質でクリアな音声で会議を行うことができるようになります。

小会議室には、ビデオバーを常設することで、会議前の準備の手間を最小限に減らすことができます。ビデオバーにはカメラとマイク、スピーカーが集約されており、こちらもケーブル1本でPCと接続して簡単にPCの映像・音声を拡張できるようになります。またビデオバーに搭載される音声自動追尾やオートフレーミングなどのAI機能を活用することで、臨場感が高まり会議に集中できる環境が作り出されます。

現在の会議スタイルに合わせたリプレイスで、会議環境が改善され業務効率も向上

会議室のレイアウトによってWeb会議の周辺機器を使い分ける提案が承認され、デモで実際の製品の品質を確認した結果、導入が決定しました。以前はトラブルのたびに管理者が呼び出されて対応していましたが、導入後はセッティングがシンプルになったことでトラブルが減少し、呼び出されることもなくなったとのことです。また、音声も改善され、会議に集中できるようになりました。

だれでも使えるように会議室の設備を整えることで、快適な会議環境を実現し、会議の質の向上とともに業務効率も改善することができました。

Copyright © 2024 VTV Japan, Inc.

Casestudy Portfolio　オンライン会議活用事例

会議室インテグレーション事例

会議室規模に合わせたマイクと音響設備セットで利便性の向上と音環境を改善し快適でストレスフリーなオンライン会議を実現

User Profile

バッテリー製造会社様

事業内容：蓄電デバイスの製造・販売・サービス
導入年月：2024年2月

国内に9拠点の事業所と工場を持つバッテリー製造会社様は、Microsoft Teamsとマイクスピーカーを利用したBYOD運用でのオンライン会議を開催していました。50人規模の本社会議室は年頭式、入社式などのイベントからセミナー、講演会まで多目的に利用し、会議体に合わせてパーテーションで会議室を分割するほか、ロの字やスクール形式などのレイアウトに変更して対応していました。

用途に応じてレイアウトを変更して会議を行っていましたが、中でもパーテーションを取り払った大規模会議室でのオンライン会議では、音声が非常に聞き取りづらく参加者から不満の声が挙がっていました。発言時はマイクの前に移動して大きな声で発言するなど、会議の進行ルールによる改善を試みたものの、非効率で参加者のストレスも限界に達したため、根本的に問題を解決する方法を探して、VTVジャパンに相談しました。

柔軟性と品質を兼ね備えたマイクと可動式音響設備セットを提案 デモンストレーションで既存の音環境との違いをリアルに体験

お客様の会議室環境を詳しくお聞きしたところ、大人数の会議にマイクスピーカー1台で対応しており、現状の会議室規模に対して集音範囲が全く足りていないことが分かりました。またマイクケーブルの取り回しに不便さを感じており、会議準備が簡単で、快適に利用できる会議環境改善のご要望も挙がってきました。

そこでこれらの問題・課題を解決するソリューションとして、複数のワイヤレスマイクの導入をおすすめするとともに、会議室レイアウトを変えてもスムーズに会議開催ができるよう、音響機材一式をカートに載せることをご提案しました。

オンライン会議に必要な機材をカートにまとめて載せた「音響設備セット」は、レイアウトが可変する会議室や多目的に利用する会議室には最適なソリューションです。またワイヤレスタイプのマイクにすることで、ケーブルを気にせずにマイクを配置することができます。

ご要望のあった「簡単でシンプルな会議開催」には、USBケーブル1本を持ち込みPCに接続し、一括集中電源スイッチを入れるだけで、だれでも簡単に会議接続できる仕組みを採用しました。

ご提案後は実際に機器の効果を体験したいということで、デモンストレーションを実施することになりました。

当日は導入予定のマイクシステムに興味のある多くの社員がデモンストレーションに参加され、「非常に音声が良く聞き取りやすい」「会議準備もすぐにできて効率的」「便利で快適なオンライン会議ができそう」などのご感想をいただきました。

今後の利用用途の拡大も視野に入れ、バウンダリーマイクの台数追加とワイヤレスハンドマイクの追加も決まりました。当初の予算を上回りましたが、それ以上に快適なオンライン会議の音環境の実現を重視され、導入が決定しました。

ロの字型レイアウトでの利用イメージ
音響設備セットを所定位置にセットしPCと接続。ワイヤレスバウンダリーマイクを机上に配置

可動式音響設備セット
オンライン会議に必要な機材一式をカートに載せて移動

【上段】
アクセスポイントトランシーバー：Shure MXWAPT8
Web会議用カメラ：Aver CAM520 Pro3
スピーカー：ヤマハ MS101-4

【中段】
ワイヤレスバウンダリーマイク：Shure MXW6
ワイヤレスハンドマイク：Shure MXW2
マイク充電ステーション：Shure MXWNCS8

【下段】
オーディオプロセッサー：Shure Intellimix P300
PoE+ スイッチ：ヤマハ SWR2100P-10
Dante AVIO アダプター：ADP-DAO-AU-0X1
カメラ用三脚
電源タップ（手元スイッチ付き）

VTVジャパンオリジナル音響周辺機器保守で導入後も安心して運用

2024年2月に導入が完了し、現在は問題なく快適に会議が行われています。また保守にも加入いただき、安心してオンライン会議が行える点も高く評価されています。

今回の事例のように、最適で使いやすさを追求した機器選定でオンライン会議の質を大きく向上させることができます。

弊社では今後もお客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供してまいります。

Copyright © 2024 VTV Japan, Inc.

Casestudy Portfolio　オンライン会議活用事例

会議室インテグレーション事例

可動式音響設備セットでレイアウトフリー会議室環境を整備 音声の劇的改善と使いやすさで快適なオンライン会議が実現

User Profile

建築設備設計会社様

事業内容：建築設備設計・施工・メンテナンス
導入年月：2024年2月

建築設備設計会社様はコロナ禍と働き方改革を機にリモートワークを推進し、オンライン会議を活用していました。2021年には会議室からもオンライン会議に参加できるように音響機器を導入しましたが、音声品質が悪く評判が良くありませんでした。映像オフが必須の会議も多く、映像からの情報が得られない分音声の重要性の高さから、同社上層部より音声品質改善が指示されました。

そこでご担当者は、VTVジャパンを含む複数のベンダーに音響機器提案の依頼をしました。当時は予算を優先したため別ベンダーの提案を採用しましたが、VTVジャパンの音声品質を重視した提案は、ご担当者の印象に残りました。

その後導入した機器を利用していましたが、機器の不具合や音声品質に対する不満が利用者から多く寄せられたため、再度音響機器の見直しが行われることになりました。2023年11月、あらためてVTVジャパンにご相談いただきました。

ワイヤレス音響機器でケーブルトラブルと音声品質問題を解消 機器一式をカートにまとめ、レイアウト変更にも瞬時に対応

リプレイス予定の会議室は、レイアウトフリーで40人収容可能な大規模会議室でした。この会議室は、重役会議や部門会議、入社式、年初式などのイベントにも幅広く活用されており、参加人数や内容に合わせてパーテーションで仕切って利用していました。しかし、会議室の規模に対して機材のスペックが足りておらず、会議室のレイアウトを変更するたびに機器の配線取り回しが悪く、断線などのケーブルトラブルが頻発していました。

同社のご要望は、音声改善と簡単で使いやすい機器構成への改定でした。特にケーブルに関連する不具合に疲弊しており、これを機に解決したいと考えていました。2021年当時は企業ポリシーで無線機器の使用が禁止されていましたが、現在は改定され、ワイヤレスタイプの製品を取り入れた、配線が簡単且つシンプルに整えられる構成の提案が可能になりました。

VTVジャパンは、カートに必要な音響機器を載せ、会議室のレイアウトに合わせて簡単に移動できる音響機器セットを提案しました。カートに載った機材とその配線をまとめることで、会議用PCとはUSBケーブル1本で接続でき、マイクをワイヤレス化することで配線を気にせず利用することが可能になります。

その後関係者向けに実機デモを実施したところ、約20名の社員がデモに参加されました。既存システムとの音声品質の違いと機器の使いやすさを体感され、高い評価をいただきました。

可動式音響設備セット
オンライン会議に必要な機材一式をカートに載せて移動

【上段】
アクセスポイントトランシーバー：Shure MXWAPT8
Web会議用カメラ：Aver CAM520 Pro3
スピーカー：ヤマハ MS101-4

【中段】
ワイヤレスバウンダリーマイク：Shure MXW6
マイク充電ステーション：Shure MXWNCS8

【下段】
オーディオプロセッサー：Shure Intellimix P300
PoE+ スイッチ：ヤマハ SWR2100P-10
カメラ用三脚
電源タップ（手元スイッチ付き）

レイアウトパターン：大規模会議室での利用イメージ
音響設備セットを所定位置にセットしPCと接続。ワイヤレスバウンダリーマイクを机上に配置

レイアウトパターン：セミナーや入社式などのイベント利用イメージ
音響設備セットを所定位置にセットしPCと接続

使いやすく信頼性の高い音響機器の導入でコミュニケーションの質が向上

音響機器セットの導入が決定し、2024年2月に機器が設置されました。設置後の説明会には約30名の社員が参加し、実際に機器に触れた社員からも多くの反響がありました。

コロナ禍に「とりあえず」導入した機器から、高い音声品質と使いやすさが両立できる信頼性の高い音響機器にへのシフトに成功し、コミュニケーションの質も大きく向上しました。音響機器保守にも加入し、安心して運用できることが期待されています。

今後もVTVジャパンはお客様のニーズに応えた最適なソリューションを提供し続けていきます。

Copyright © 2024 VTV Japan, Inc.